

高浜市やきものの里かわら美術館小企画展

# 日本瓦の文様展



複弁蓮華文軒丸瓦（野口廃寺）

開催期間 11月20日(木)～平成21年1月12日(月)

観覧時間 午前9時～午後5時（観覧券の販売は午後4時30分まで）

観覧料 高校生以上200円（160円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

休館日 月曜日（11月24日(月)・1月12日(月)は開館）、11月25日(火)・12月28日(日)～1月1日(休)

関連行事 ・ギャラリートーク 11月24日(月)、12月21日(日) 午後2時より

軒先に使われる瓦は江戸時代、巴瓦（軒丸瓦）・唐草瓦（軒平瓦）と呼ばれていました。これはいずれもそこに配された文様から、このように呼ばれていたものです。

瓦は中国で成立してほどなく、軒先に文様を用いるようになりました。日本に伝えられた瓦にも、その伝来当初から、軒先に華麗な文様が用いられていたと考えられています。

古代の瓦で主流を占めるものは、軒丸瓦では蓮華文、軒平瓦では重弧文や唐草文です。その後、古代末～中世には巴文や剣頭文などが用いられるようになり、江戸時代には軒丸瓦は連珠三巴文、軒平瓦は均整唐草文という形に定式化されていきます。江戸時代中期には、軒丸瓦と軒平瓦が合体した軒棧瓦が創出されますが、文様は従来のものをデフォルメして使っています。そして近代の合理主義の中、文様のない軒瓦も作られるようになっていきました。文様のある瓦にはこのほか鬼瓦、小菊瓦、鯨瓦などもあげられます。

本展示では、古代から現代にいたるまで、瓦を飾ってきたさまざまな文様を紹介します。瓦の文様には、「複弁蓮華文」や「偏行唐草文」といった、わかりにくい呼び方のものも少なくありません。このような呼称の解説も交えながら、さまざまな瓦の文様を鑑賞しましょう。

問合せ先：かわら美術館 ☎52-3366

## LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

（ポルトガル語のページを読んでください！）

広報

# たかはま

編集／発行 高浜市役所市民生活グループ  
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2  
TEL(0566)52-1111 FAX(0566)52-1110  
<http://www.city.takahama.lg.jp/>  
電子メール [info@city.takahama.lg.jp](mailto:info@city.takahama.lg.jp)

早期配布にご協力ください。

表紙 笑顔きらきら あかりキラキラ 鬼みちまつり

10月18日に行なわれた「第7回鬼みちまつり」。イベントの一つとして開催されたチャラポコ踊りでは、今年のテーマ「ハロウィン」をモチーフにした色とりどりの衣装に身を包んだ参加者が、軽快な音楽にあわせて自慢の踊りを披露しました。また、夜には市民の手づくりの瓦のランブシェードに一齐に火が灯され、来場者たちは蠟燭のほのかな光が作り出す幻想的な光景に見入りました。（え）